

2022年度 水稲用農薬【殺菌・殺虫剤】使用基準

種 別	特裁可否	農薬名	使用量	摘 要	使用時期	使用回数 (以内)
殺菌・殺虫剤		モミガードC水和剤	稲と薬液の容量比1:1以上	200倍希釈、24時間浸漬	浸種前	1
	特裁可	ダコニール1000	10/箱	苗立枯病、1000～2000倍希釈	播種時～緑化期（播種14日後まで）	2
	特裁可	ルーチンエキスパート箱粒剤	50 g /箱	いもち病、紋枯病、本田主要害虫	播種時～移植当日	1
	特裁可 直播用	カルパー粉粒剤16	乾燥種粒重量の 等倍～2倍量	発芽率の向上 苗立歩合の安定	湿粉衣	1
	特裁可 直播用	ダントツフロアブル	乾燥種粒3kg当り 原液75mℓ	イネミズウムシ	コーティング中の種粒に塗沫処理	1
	特裁可 直播用	ルーチンシードFS	乾燥種粒1kg当り 原液6～12mℓ	いもち病	コーティング中の種粒に塗沫処理	1
		ビームダントツH粉剤DL	3～4 k g /10 a	いもち病、カメムシ類、ウンカ類、イナゴ類	収穫7日前まで	2
		チームワーク粉剤DL	3～4 k g /10 a	いもち病、紋枯病、カメムシ類	収穫14日前まで	3
		オリゼメート粒剤	3～4 k g /10 a	いもち病	収穫14日前まで	2
		リンバー粒剤	3～4 k g /10 a	紋枯病	収穫30日前まで	2
		バリダシン粉剤DL	3～4 k g /10 a	紋枯病	収穫14日前まで	5
	特裁可	エクシード粉剤DL	3 k g /10 a	ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類	収穫7日前まで	3
	特裁可	アルバリン粉剤DL	3 k g /10 a	カメムシ類、イナゴ類、ウンカ類、ヨコバイ	収穫7日前まで	3
	特裁可	アルバリン粒剤	3 k g /10 a	カメムシ類、ニカメイチョウ、ウンカ類、ヨコバイ	収穫7日前まで	3
倒伏軽減剤		スマレクト粒剤	2～3 k g /10 a	湛水状態で散布し、7日間は落水やかけ流しをしない	出穂7～20日前	1

2022年度 水稲用農薬【畦畔除草剤】使用基準

種 別	特裁可否	農薬名	使用量	摘 要	使用時期	使用回数 (以内)
一般除草剤 (水田畦畔)	特裁可	ラウンドアップマックスロード	200～1000mℓ/10 a	通常散布では50～1000/10 a 少量散布では5～250/10 a	収穫前日まで ※特裁で使用する場合は1回まで	2
		ザクサ液剤	500～1,000mℓ/10 a	100～1500/10 a にうすめて加圧散布	収穫7日前まで	2
		バスタ液剤	500～1,000mℓ/10 a	100～1500/10 a にうすめて加圧散布	収穫7日前まで	2
		カソロン粒剤6.7	4～6kg/10a	全面土壌散布	水田畦畔 秋冬期～春期の雑草発生前～発生始期	1